

力溢れる年へ...



たけおか新聞



第28号

あけましておめでとうございます

家庭でできる地震対策

- ① 家具の固定
- ② 飲料・食料の備蓄
- ③ 非常用持ち出しバッグの準備
- ④ 避難場所・避難経路の確認
- ⑤ 家族での防災会議

※詳しくはネット等で調べてみましょう



新年、明けましておめでとうございます。日頃のご愛顧、誠にありがとうございます。

さて、新年の初日でもある元日を襲った、『能登半島地震』。最大震度7の大規模地震で、被災地では多くの建物や道路が損壊し、停電や断水などのライフラインの被害も発生しました。救助活動や復旧作業が続いています。寒さや物資不足などの困難に直面しています。

災害はいつ起こるかわかりません。特に地震は発生から被災までの時間が短く、その予想も難しいです。そこで大事になってくるのが、日頃からの地震対策です。家庭ですぐにできる地震対策を上記にあげました。

準備をしておくことで、避難生活での自分と家族を守ることにも繋がります。事前の地震対策は、大切な人、ものを守るために何よりも大切なことです。今からできるものを把握して、明日地震が起こっても大丈夫なように準備しておきましょう。



餅つきをしました！



武岡病院では、12月の年末行事として餅つきを行っています。餅つきの由来としては、昔から、お祝いの時にはお餅が食べられていたそうです。また、お餅(鏡餅)を新しい年の神様にお供えて神様と一緒に食べることで、新しい命や力を授かると言われているそうです。新しい年が始まるお正月に、食べると元気になるお餅を用意するために、年越し前に準備をするということですね。

病院での餅つきは、病院スタッフだけではなく、地域の方々にも協力を頂き、一年の労をねぎらいながら、皆さんが連帯感をもって笑顔で参加されていたのが印象的でした。令和6年も良い年になりますように。

餅つきは主に男性陣、餅を丸めるのは主に女性陣が頑張りました！